

# あなたのパソコンは… こんな風になっていませんか？



常時パソコンが作動している状態にあるとパソコンの内部が高温になり排熱のために内部のファンが作動します。

空気の移動するルートは決まっているので、机上や空気中の細かなホコリも同じルートで移動します。

移動したホコリは内部の部品やファンに付着し、時がたつにつれてホコリの塊が大きくなり、基盤のショート等でパソコンが壊れたり、ホコリの塊で排熱できなくなりパソコン内部が高温状態になり部品が壊れたり、急に電源が落ちたりします。

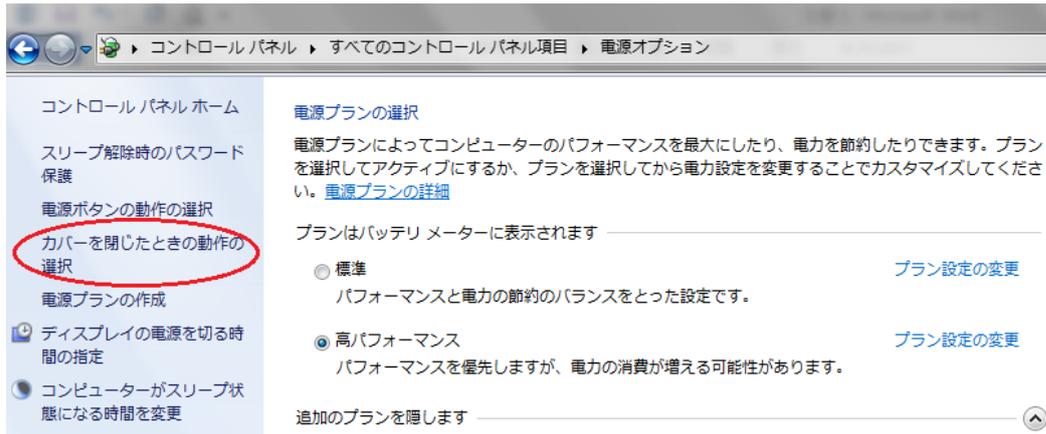
そこで、長時間パソコンを使わないのであればシャットダウンしましょう。起動やシャットダウンに費やす時間がもったいないという人はパソコンをスリープか休止状態にしましょう。

ノートパソコンを閉じた状態でスリープか休止状態にする方法は、下記の手順で設定してください。

スタートボタン  
↓  
コントロールパネル

## 電源オプション

### カバーを閉じたときの動作の選択



#### 電源ボタンの定義とパスワード保護の有効化

コンピューターの電源設定を選択できます。このページの設定に対して行う変更は、お使いのすべての電源プランに適用されます。

#### 電源ボタンとカバーの設定



スリープ状態か休止状態を選択して下部の変更の保存をクリックし設定は完了です。

## スリープ状態と休止状態について

スリープは、作業を再開したいときに、すばやく（通常は数秒間で）コンピューターを通常の電力状態の動作に戻すことができる省電力の状態のことです。

コンピューターをスリープ状態にするのは、DVD プレーヤーを一時停止させ

ることに似ています。コンピューターは作業中の動作を即座に停止しますが、好きなときにいつでも再開することができます。

休止状態は、主としてノート PC 用に設計された省電力の状態のことです。スリープが作業していた内容と設定をメモリに保存し、電力を少量使用するのに対し、休止状態は、開いているドキュメントとプログラムをハード ディスクに格納して、コンピューターをオフにします。Windows のすべての省電力状態の中で、休止状態が最も消費電力が少ないオプションです。

**パソコンにも休息を！**